

これまでの助成先

学校教育

やまがたAI部運営コンソーシアム

助成事業:やまがたAI部

AI・デジタル人材の育成を目的に、産学官金が連携し「デジタル人材育成プロジェクト」を展開。高校生を対象に、エンジニアによるオンラインAI講座やものづくり企業の見学、AIでゆでたまごの状態を予測する実験など身近なテーマを通じて、知識・技術の体得をサポートしています。年々参加校が増えており、実験道具やテキストなど学習環境の整備に当基金を活用しました。

また、AIを活用した地域課題解決に向けた取り組みなどの成果を発表する場として、毎年3月に「やまがたAI甲子園」を開催。生徒がそれぞれの技術やアイデアを高め合うとともに、自信や達成感を得る機会となっています。



社会教育

鶴岡スペースステーション

助成事業:庄内から宇宙を発信し、宇宙を身近に感じてもらうための活動

地域の子もたちが最先端の宇宙科学に触れることで、将来の選択肢や視野が広がるきっかけとなることを目的に活動しています。

助成事業では、閉校した旧鶴岡市立加茂小学校を会場に、ロケットや宇宙ステーションのミニチュア模型の展示や、火星探査車を模したラジコンで火星調査を疑似体験するコーナー、介護用の機器で火星の重力を体験するコーナーなど、楽しみながら学べる機会を提供。運営にあたっては、子どもたちが主体的に関われるような仕組みづくりに取り組みしており、知的好奇心を育てるだけでなく、世代を超えたつながりの創出にも貢献しています。



文化活動

綱木獅子踊り保存会

助成事業:綱木獅子踊り継承事業

米沢市の綱木地区では、400年以上続くとされる獅子踊りが伝わっています。奇跡的にほとんどの演目が口伝によって継承されてきましたが、限界集落となった近年では、集落を離れた人や関心を持つ人々の支援を得る必要があり、膨大な量の演目を覚えてもらうのが継承の高いハードルになっていました。

そこでこの問題を解決するために、踊りの練習用DVDの作成に当基金を活用しました。DVDが出来たお陰で、毎月の練習に参加できない人でも自主練習が出来るようになり、踊りの習得が大変スムーズになりました。



助成のポイント

当基金では、さまざまな団体・個人が多く関わる活動を通じて、その成果が地域に広く波及することを重視しています。また、活動の内容が、公益性が高いものであることも重要です。申請の際は、継続事業の充実や新規事業の計画でこのようなポイントを教えてください。

皆さまの工夫やチャレンジが一過性のものになることなく、継続的・発展的に取り組まれることで地域課題の解決が着実に進むことを応援します。